



2027年度

弘前大学大学院保健学研究科
保健学専攻（博士前期課程）

学 生 募 集 要 項

（推薦特別選抜・一般選抜・外国人留学生特別選抜）

弘 前 大 学

目 次

<u>I 選抜区分</u>	1
<u>II 募集人員等</u>	1
<u>III 推薦特別選抜</u>	
III-1 出願資格	1
III-2 事前相談	2
III-3 出願手続等	2
III-4 出願書類	2
III-5 入学者選抜方法	3
III-6 選抜試験の日時及び試験会場等	3
III-7 合格発表	3
<u>IV 一般選抜</u>	
IV-1 出願資格	3
IV-2 事前相談	5
IV-3 大学院設置基準に基づく授業時間などの特別措置	5
IV-4 出願資格の認定審査	5
IV-5 出願手続等	7
IV-6 出願書類	7
IV-7 入学者選抜方法	8
IV-8 選抜試験の日時及び試験会場等	8
IV-9 合格発表	8
<u>V 外国人留学生特別選抜</u>	
V-1 出願資格	8
V-2 事前相談	9
V-3 出願資格の認定審査	9
V-4 出願手続等	10
V-5 出願書類	11
V-6 入学者選抜方法	12
V-7 選抜試験の日時及び試験会場等	12
V-8 合格発表	12

VI 諸手続き・制度

VI-1	入学手続等	13
VI-2	教員免許状授与の所要資格の取得	13
VI-3	長期履修学生制度について	13
VI-4	個人情報保護について	14
VI-5	被ばく医療コースについて	14
VI-6	放射線看護高度看護実践コースについて	14
VI-7	診療看護師（NP）コースについて	15
VI-8	その他	16
VI-9	書類提出先・問い合わせ先	16

(資料)

	各領域の担当教員と研究テーマ	17
	お知らせ	24

「Well-being学際教育研究プログラム」の開設について

弘前大学では地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）に採択されたことを受け、令和8年度より、Well-being学際教育研究プログラムを開設します。

本プログラムでは、異分野融合型総合知により、グローバル Well-being 共創社会の実現に向けて貢献できる人材の育成に取り組みます。プログラムの詳細は入学後、お知らせします。

弘前大学入学志願者の入学検定料の免除について

弘 前 大 学

災害により、被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

弘前大学では、被災者の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、2026年度に実施する入学者選抜試験について、以下のとおり入学検定料を免除する措置を講じます。

入学検定料の免除を希望される方は、申請前に必ず保健学研究科学務グループまでご連絡ください。

1. 免除対象となる入学者選抜試験

2026年度に実施する学部入試（編入学入試を除く）及び大学院入試（科目等履修生、研究生及び聴講生は対象外となります。）

2. 対象者

免除対象となる入学者選抜試験の志願者で、東日本大震災（平成23年3月11日発生）及び2026年度に災害救助法が適用された地域で被災し、次のいずれかに該当する方

(1) 学資負担者が居住していた家屋（自己所有に限る）が、全壊、大規模半壊、半壊、流失と認定された方

東日本大震災においては、岩手県、宮城県および福島県の全市町村並びに青森県、茨城県、栃木県及び千葉県の災害救助法適用市町村に居住しており、居住していた家屋が上記の被害認定を受けた方

(2) 学資負担者が震災により死亡又は行方不明になった方

(3) 居住地が福島第一原子力発電所の事故により、帰還困難地域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された方

※2026年度災害救助法の適用を受けない地域であっても、罹災証明書等の提出により対象となる場合があります。

3. 申請の方法

事前に電話等で問い合わせてください。免除対象と判断された方は、所定の申請書に証明書類を添えて、出願書類とともに提出してください。この場合は、出願時に入学検定料を払い込まないでください。

諸事情により出願時まで証明書類が準備できない場合は、一旦入学検定料を払い込んで通常の出願を行い、後日証明書類が準備でき次第、申請書類を提出してください。許可となった場合は、払い込まれた入学検定料を返還いたします。

4. 申請書類

- (1) 「入学検定料免除申請書」
(本学ホームページからダウンロード (<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp>))
- (2) 証明書類
 - ① 「罹災証明書」(コピー可)(上記2の(1)に該当する方)
 - ② 「死亡または行方不明を証明する書類」(コピー可)(上記2の(2)に該当する方)
 - ③ 「被災証明書」(コピー可)(上記2の(3)に該当する方)

※ 入学検定料免除の要件に該当するか判断できない場合(学資負担者が自己所有する家屋かどうか判断が困難な場合など)には、追加で証明書類の提出をお願いすることがありますのでご了承ください。

5. 許可または不許可の通知について

- (1) 許可者には、受験票を送付(インターネット出願の場合は受験票をダウンロード)することで決定通知書に代えさせていただきます。(一旦、通常の出願を行った後の申請の場合は、入学検定料の「払戻請求書」を送付することで決定通知書に代えさせていただきます。)
- (2) 不許可者には、別途通知いたします。
この場合は、直ちに入学検定料を払い込んでください。(受験票の送付は、払い込みが確認された後となります。)

6. その他

- (1) 入学検定料の免除申請の手続き(事前連絡を含む)をせずに検定料を払い込んだ場合は、検定料の返還はできませんので、ご注意ください。
- (2) 2026年度に災害救助法が適用された地域で被災された場合であっても、すでに出願期間が終了している入学者選抜試験については、入学検定料の免除はできません。
- (3) 入学検定料の免除を許可された方であっても、申請に虚偽があった場合は、許可の日にさかのぼってこれを取り消します。その場合は、直ちに入学検定料を払い込んでください。
- (4) 入学金及び授業料の減免等については、本学の「入学金及び授業料の減免等制度」への申請が別途必要になります。
- (5) 本件について、不明の点がありましたら、下記に問い合わせてください。

(本件に関する書類提出先・問い合わせ先)

〒036-8564 弘前市本町6番地の1

弘前大学保健学研究科学務グループ

TEL : 0172-39-5911

FAX : 0172-39-5912

弘前大学大学院保健学研究科（博士前期課程） 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

◎保健学専攻

1 概要

（1）基本理念

保健学は、人間を身体的・精神的・社会的に全人的な存在としてとらえ、人々の健康について探究し、健康と福祉の向上に寄与する学問領域です。弘前大学大学院保健学研究科保健学専攻（博士後期課程）では、この学際的な学問領域を進歩・発展させるとともに、保健学の領域における教育と研究を通して、その成果を社会に還元し、人類の健康と福祉の向上に寄与することを基本理念とします。

（2）教育目標

① 研究者としての能力開発

保健学に係わる学際的研究をエビデンスの探究という視点から専門の枠を超えて実践し、その結果を世界に向けて発信できる人材を育成します。

② 教育者の育成

大学及び大学院において教育指導に寄与でき、地域社会において科学的方法論に基づいた健康教育を実践できる人材を育成します。

③ 高度な専門知識・技術を身につけた指導者の育成

高度な専門知識と技術を身につけ、チームの指導者として課題を選択・研究し、その解明に寄与できる人材を育成します。

④ 地域保健医療活動推進能力の育成

地域保健活動の場において指導的役割を果たす立場の者を教育・指導・支援できる人材の育成を目指します。

2 求める学生像

- ・人々の健康を保持増進し、生活の質の向上に向けた独創的・学際的な研究を自立的に進められる学生
- ・高度な専門性、倫理性を身につけ、自らの専門性を深化・発展させることのできる学生
- ・科学的根拠に基づいた保健学を実践・発展させる上で不可欠な、“エビデンスの探究・蓄積”ができる学生
- ・未解明の問題のエビデンスを探究するため、学際的連携や多専門職による職種を越えた協働・研究を展開できる学生

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

- ・高度な専門知識と技術を基盤として理論やエビデンスを追求するための基礎的知識と方法論
- ・理論やエビデンスに対応した実践の展開や新しい技術を開発するための基礎的知識と方法論
- ・多専門職の連携によるチーム医療を実践し、新しい視点と戦略をもってリーダーシップを発揮できるための基礎的知識と方法論

4 入学者選抜方針

総合的学力及び研究に対する探求心、意欲等を評価するために、筆記試験（解剖学・生理学・統計学の基礎知識、志望領域の専門基礎知識、英語）及び口述試験の結果を総合して選抜します。

（提出書類は、口述試験の基礎資料として使用します。）

【看護学領域】

1 概要

看護学の幅広い学識と高度な専門知識と倫理性を深め、教育・研究者として独創的・学際的な研究を自立的に進め、人々の健康を保持増進し、生活の質（QOL）向上に向けて科学的根拠に基づき実践できる人材の育成を目指しています。

2 求める学生像

- ・看護学領域に関する高度な知識と技術を基に、健康の保持増進と生活の質向上に向けた取り組みを実践できる人
- ・修得した知識と教育・研究能力を活かして、保健・医療チームの中でリーダーとして活躍できる人
- ・論理的思考力を基に、学際的な研究に自律的に取り組み、看護学の発展に寄与できる人

【放射線技術科学領域】

1 概要

人間の“生命活動”に係わる生体情報や生体機能について、科学的解析手法を駆使してエビデンスを追究し、サイエンスとしての放射線技術科学の更なる深化を図るとともに、今日的な保健医療の課題に対して、職種を越えて相補的に連携・協働し、特定領域に縛られない新しい発想と創造的思考力を持った人材の育成を目指しています。

2 求める学生像

- ・放射線技術科学に関わる教育・研究者を目指す人
- ・高度な専門知識と技能を持った臨床研究者を目指す人
- ・先端的な放射線技術科学の知識及び技術を学びたい人

【生体検査科学領域】

1 概要

分子、細胞レベルから個体に至る幅広い観点で生命現象を理解し、広範な生命科学領域における多様な問題を解決するための独創性と実行力を兼ね備えた人材を育成することを目的としています。このような人材育成を目的に、生命現象の分子レベルでの理解を基盤として、生体機能及び病因・病態解析に係る教育・研究を行います。

2 求める学生像

- ・生体検査科学に関連する教育を行う大学あるいは大学院における教育・研究指導に意欲のある人
- ・保健・医療の現場において、高い倫理観と高度な専門知識を持った実行力のある人
- ・指導的・専門的立場から課題を見つけ、グローバルな観点から自立的な研究を行うことができる人

【総合リハビリテーション科学領域】

1 概要

理学療法学及び作業療法学を基盤としたリハビリテーション科学領域の幅広い学識と高度な専門知識および倫理性をさらに深め、人々の健康の維持・増進、運動・精神障害の予防と軽減、生活の質（QOL）の向上を目的とした科学的根拠に基づくリハビリテーション（Evidenced Based Rehabilitation）を実践

・発展させていく上で不可欠な、“未解明のエビデンスの探究・蓄積”ができる人材の育成を目指しています。

2 求める学生像

- ・リハビリテーション科学領域に関する高度な知識と技術を基に、健康の維持・増進と生活の質向上に向けた取り組みを実践できる人
- ・修得した知識と教育・研究能力を活かして、保健・医療チームの中でリーダーとして活躍できる人
- ・既成概念にとらわれない発想と論理的思考力を基に、学際的な研究に自律的に取り組み、保健学を発展させていける人

I 選抜区分

- 全領域にわたって「推薦特別選抜」「一般選抜」「外国人留学生特別選抜」を行います。

II 募集人員等

看護学領域、放射線技術科学領域、生体検査科学領域、総合リハビリテーション科学領域の4つの領域において、30名募集します。このうち、12名程度を推薦特別選抜から募集します。募集人員には放射線看護高度看護実践コース、診療看護師(NP)コース(※)、被ばく医療コースの募集人員も含まれます。外国人留学生特別選抜については、看護学領域、放射線技術科学領域、生体検査科学領域、総合リハビリテーション科学領域の4つの領域の被ばく医療コースにおいて、若干名募集します。

(※) 診療看護師(NP)コースは、2027年4月設置に向けて、2026年4月現在、設置認可事前相談中です。本コースの設置、カリキュラム等が確定次第、本研究科ホームページにおいて公表します。

表1

専攻	領域	学位	募集人員
保健学専攻 (博士前期課程)	看護学	修士 (看護学)	30名 (推薦特別選抜から12名程度) (募集人員には、放射線看護高度看護実践コース、診療看護師(NP)コース、被ばく医療コースの募集人員も含まれます。)
	放射線技術科学	修士 (保健学)	
	生体検査科学		
	総合リハビリテーション科学		

- 「一般選抜」「外国人留学生特別選抜」については、第1期と第2期に分けて募集します。入学志願者は、第1期と第2期の両方を受験することができます。募集人員は、第1期と第2期の合計数です。ただし、第1期募集の選考の結果、募集人員に達した場合は第2期募集を実施しない場合があります。
- 出願に際しては、必ず志望する領域の担当教員に教育研究内容等について問い合わせのうえ、出願してください。
- 教員の教育研究内容については、17~23ページ表10-①~④「各領域の担当教員と研究テーマ」を参照してください。

III 推薦特別選抜

III-1 出願資格

2027年3月までに日本の大学を卒業見込の者で、次の要件をすべて満たす者

- (1) 合格した場合には入学を確約でき、かつ、本学指導予定教員の受入承諾を得ている者
- (2) 志望するそれぞれの分野の専門教育を受け、学業成績が優秀で、出身大学の指導教員等が責任を持って推薦できる者
- (3) 3年次までの必修科目をすべて修得していること
- (4) 教養教育科目を含んだ3年次での科目の修得単位(教職課程科目及び単位認定科目は除く)の累積GPAが2.7以上であること

累積 GPA = (秀の単位数×4 + 優の単位数×3 + 良の単位数×2 + 可の単位数×1) / 総修得単位数
 ※小数点以下第一位未満の端数があるときは、小数点以下第二位の値を四捨五入する。
 ※点数評価の場合は、100点～90点=秀、89～80点=優、79点～70点=良、69点～60点=可 とする。

Ⅲ－２ 事前相談

- 出願希望者は、出願前に、指導を受けようとする指導教員と電話、e-mail 等で連絡を取り、入学後の履修内容や要件、研究等について必ず相談してください。
- 指導教員については、17～23 ページ表 10－①～④「各領域の担当教員と研究テーマ」を参照してください。
- 被ばく医療コースについては、14 ページ「VI－5 被ばく医療コースについて」の項を参照してください。
 なお、被ばく医療コースを希望する際は、事前相談の際に、指導を受けようとする指導教員に被ばく医療コースの選択が可能か確認し、選択することについて了解を得てから出願してください。
- 不明な点や質問がある場合は、問い合わせてください。

Ⅲ－３ 出願手続等

1. 出願期間

2026 年 6 月 8 日（月）から 2026 年 6 月 12 日（金）17 時まで（必着）

2. 出願方法

検定料を払い込むために必要な書類（払込取扱票）を除いた入学志願票等の所定用紙を、保健学研究科ホームページ (https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/juken/d_entrance) からダウンロードし、A4 判用紙に片面印刷のうえ記入してください。

払込取扱票は（所定用紙を印刷できない場合は所定用紙も）、保健学研究科学務グループに請求して取り寄せる必要があります。請求方法は、最終ページの「お知らせ」を参照してください。**なお、払込取扱票の取扱期間は、出願期間初日の 1 週間前から出願期間最終日までとします。**

出願手続時は、2～3 ページ表 2 の出願書類を一括取り揃え所定の期日までに提出してください。なお、出願書類等を郵送する場合は書留郵便とし、出願書類提出用宛名を印刷し、角形 2 号封筒に貼付の上、郵送してください。

3. 出願上の注意事項

- 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- 出願後の書類の内容変更はできません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、本学保健学研究科学務グループまで連絡してください。
- 出願に関して不明な点がある場合は、入学検定料を払い込む前に問い合わせてください。
- 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

Ⅲ－４ 出願書類

表 2 推薦特別選抜 出願書類一覧

URL: https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/juken/d_entrance

出願書類	摘 要
①入学志願票	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、必要事項を記入してください。
②受験票・写真票	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、必要事項を記入してください。 所定の箇所に写真（3ヶ月以内に撮影した、縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きのもので受験時に眼鏡を着用する者は、眼鏡をかけて撮影）をそれぞれ貼付したもの

③成績証明書	出身学校長等が作成し、 厳封 したもの
④卒業見込証明書等	出身学校長等が作成したもの
⑤推薦書	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、出身大学（出身学校）の指導教員等が作成し、 厳封 したもの
⑥志望理由書	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、必要事項を記入してください。
⑦研究計画書	研究の課題、動機、目的、方法についてA4版2枚（様式任意）にまとめてください。
⑧入学確約書	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、必要事項を記入してください。
⑨履修手引き	カリキュラム一覧等、出願資格を確認できるもの （※弘前大学医学部保健学科在学中の志願者は提出不要）
⑩検定料	30,000円を本研究科所定の払込票（ 本学に請求して取り寄せること。 ）により最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行から払い込んでください。払込済の「振替受付証明書（お客様用）」を所定の貼付台紙に貼り付けて提出してください。
⑪受験票送付用封筒	長形3号の封筒に志願者の氏名、住所、郵便番号を明記し、110円分の切手を貼付してください。
⑫あて名票	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、志願者の住所・氏名を記入

Ⅲ－５ 入学者選抜方法

- 推薦特別選抜は、口述試験および出願書類により判定します。
- 口述試験は、研究者としての適性・意欲を問います。また、研究計画に関する口頭試問を含みます。
- 諸事情により、受験のために来学することが出来ないことが想定される場合には、本学保健学研究科学務グループまで問い合わせてください。

Ⅲ－６ 選抜試験の日時及び試験会場等

2026年7月4日（土）

選抜区分	試験科目等	時 間	試 験 場
推薦特別選抜	口述試験	10：00～	弘前大学大学院 保健学研究科校舎

Ⅲ－７ 合格発表

2026年7月17日（金）午前10時（予定）

- 保健学研究科ホームページ（<https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/>）で発表するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。
- 電話等による可否の問い合わせには応じていません。

Ⅳ 一般選抜

Ⅳ－１ 出願資格

出願できる者は、次のいずれかに該当する者、または2027年3月31日までに該当する見込みの者。

- 1) 大学を卒業した者
- 2) 大学改革支援・学位授与機構（大学評価・学位授与機構）から学士の学位を授与された者
- 3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- 4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- 5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- 6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- 7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 8) 昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号をもって文部科学大臣の指定した者^{注1)}
- 9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学院に入学した者であって、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると本研究科において認めた者^{注2)}
- 10) 次のいずれかに該当する者であって、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めたもの^{注2)}
 - イ 大学に 3 年以上在学した者
 - ロ 外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者
 - ハ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者
 - ニ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- 11) 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者で、2027 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者^{注3)}

注 1) 上記項目 8) は、旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校を卒業した者及び卒業見込みの者を含みます。

注 2) 上記項目 9) 及び 10) により出願しようとする者は、出願に先立ち、個別の出願資格審査が必要ですので、5 ページ「IV-4 出願資格の認定審査」の項を参照してください。

注 3) 上記項目 11) は、上記項目 1) ～ 8) に該当しない者のうち、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等の卒業生（修了者）等を示し、出願に先立ち、5 ページ表 3 の審査基準による個別の出願資格審査を行います。

◎ 放射線看護高度看護実践コース

出願できる者は、上記「出願資格」のいずれかに該当する者で、看護師免許を取得した者又は取得見込みの者としてします。

◎ 診療看護師（NP）コース

出願できる者は、上記「出願資格」のいずれかに該当する者で、5 年以上の看護職としての経験があること及び看護師免許を有する者としてします。

◎ 外国人留学生の出願

外国人留学生については、出願書類及び学力検査科目等に若干異なる部分があるので、事前に本学保健学研究科学務グループまで問い合わせてください。

IV-2 事前相談

- 出願希望者は、出願前に、指導を受けようとする指導教員と電話、e-mail 等で連絡を取り、入学後の履修内容や要件、研究等について必ず相談してください。
- 指導教員については、17～23 ページ表 10-①～④「各領域の担当教員と研究テーマ」を参照してください。
- 被ばく医療コースについては、14 ページ「VI-5 被ばく医療コースについて」の項を参照してください。
なお、被ばく医療コースを希望する際は、事前相談の際に、指導を受けようとする指導教員に被ばく医療コースの選択が可能か確認し、選択することについて了解を得てから出願してください。
- 放射線看護高度看護実践コースについては、14 ページ「VI-6 放射線看護高度看護実践コースについて」の項を参照してください。
- 診療看護師 (NP) コースについては、15 ページ「VI-7 診療看護師 (NP) コースについて」の項を参照してください。
- 不明な点や質問がある場合は、問い合わせてください。

IV-3 大学院設置基準に基づく授業時間などの特別措置

- 社会人入学者のために、大学院設置基準第 14 条による昼夜開講制の導入など、社会人が働きながら学べるシステムが用意されています。

IV-4 出願資格の認定審査

出願資格 9)～11) により出願を希望する者は、あらかじめ個別に出願資格の認定審査を受けてください。

1. 審査の方法

- 出願資格の認定審査は、出願に先立ち、提出書類に基づいて行われます。
- 出願資格 9) 及び 10) による出願者の審査基準については、問い合わせてください。
- 出願資格 11) による出願者の審査は、表 3 に示す審査基準に従って、最終学校の教育水準、成績、実務経験の内容等を総合的に勘案して行われます。

表 3 出願資格 11) による出願者に対する審査基準

最終学歴	実務経験等の期間 ^{注1)}
(ア) 修業年限 2 年の短期大学の卒業生	2 年以上
(イ) 修業年限 3 年の短期大学の卒業生	1 年以上
(ウ) 高等専門学校の卒業生	2 年以上
(エ) 修業年限が 2 年以上の専修学校の専門課程の卒業生	大学卒業までの最短修業年数 (16 年) から専門課程を置く専修学校までの修業年限を控除した期間以上
(オ) 外国の大学の日本校、外国人学校専修学校 (専門課程を除く)、各種学校その他国内外の教育施設の卒業又は修了者	大学卒業までの最短修業年数 (16 年) から最終学校卒業又は修了までの最短修業年数 (入学資格を同一とする学校を複数卒業又は修了している場合は、修業年限の最長のもののみ採用。) を控除した期間以上
(カ) 上記 (ア) から (オ) までに掲げる学校の退学者	大学卒業までの最短修業年数 (16 年) から当該退学した学校の退学時までの修業年限を控除した期間以上。ただし、退学時までの標準履修単位 (時間) 数を修得していない場合は、修得単位 (時間) 数の相当年数を以て修業した年数とする。

注 1) 「実務経験等の期間」とは、次の期間を合算したものとします。

- (1) 大学又は短期大学において、研究生として在学した期間
- (2) 短期大学及び高等専門学校に置かれた専攻科等に在学した期間

- (3) 大学・短期大学、官公庁、研究所、会社等の教育又は研究開発部門に教育職又は研究職として研究に従事した期間
- (4) 病院等における臨床実務に従事した期間
- (5) 前各号に定める以外の期間については、当該期間毎に審査し、総合的に判断します。

2. 提出書類

出願資格 9) 及び 10) により出願しようとする者は、表 4 の書類を提出してください。

表 4

①出願資格認定申請書	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、必要事項を記入してください。
②成績証明書	[出願資格 9) による出願者] 在籍する大学院研究科長が作成し、 厳封 したもの [出願資格 10) による出願者] 在籍する大学（学部）長が作成し、 厳封 したもの
③在学（期間）証明書	[出願資格 9) による出願者] 在籍する大学院研究科長が作成したもの [出願資格 10) による出願者] 在籍する大学（学部）長が作成したもの
④推薦書	[出願資格 9) による出願者] 在籍する大学院研究科長が作成したもの（様式は任意） [出願資格 10) による出願者] 在籍する大学（学部）長が作成したもの（様式は任意） ※提出が困難な場合は、事前に相談してください。
⑤審査結果通知用返信封筒	長形 3 号の封筒に志願者の住所、氏名及び郵便番号を明記し、110円分の切手を貼付したもの

出願資格 11) により出願しようとする者は、表 5 の書類を提出してください。

表 5

①出願資格認定申請書	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、必要事項を記入してください。
②最終学校成績証明書	出身学校長が作成し、 厳封 したもの
③最終学校卒業証明書	出身学校長が作成したもの
④出身学校の規程等	卒業要件（在学期間・授業科目・単位数）の記載されたもの及び卒業に必要な授業科目のシラバス等（授業内容が記載されたもの）
⑤在職期間等証明書	在職期間及び職種について、勤務先の所属長が作成した証明書（様式任意） ※表3の実務経験等の期間を証明できるもの
⑥審査結果通知用返信封筒	長形 3 号の封筒に志願者の住所、氏名及び郵便番号を明記し、110円分の切手を貼付したもの

3. 申請期間

- 【第 1 期募集】 2026 年 6 月 15 日（月）から 2026 年 6 月 19 日（金）17 時まで（必着）
- 【第 2 期募集】 2026 年 11 月 2 日（月）から 2026 年 11 月 6 日（金）17 時まで（必着）

4. 認定結果通知

審査の結果は、下記期日までに申請者あてに郵送により通知します。

- 【第 1 期募集】 2026 年 7 月 8 日（水）
- 【第 2 期募集】 2026 年 11 月 25 日（水）

IV-5 出願手続等

1. 出願期間

【第1期募集】 2026年7月21日（火）から2026年7月24日（金）17時まで（必着）

【第2期募集】 2026年12月7日（月）から2026年12月11日（金）17時まで（必着）

2. 出願方法

検定料を払い込むために必要な書類（払込取扱票）を除いた入学志願票等の所定用紙を、保健学研究科ホームページ（https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/juken/d_entrance）からダウンロードし、A4判用紙に片面印刷のうえ記入してください。

払込取扱票は（所定用紙を印刷できない場合は所定用紙も）、保健学研究科学務グループに請求して取り寄せる必要があります。請求方法は、最終ページの「お知らせ」を参照してください。

なお、払込取扱票の取扱期間は、出願期間初日の1週間前から出願期間最終日までとします。

出願手続時は、7ページ表6の出願書類を一括取り揃え所定の期日までに提出してください。

なお、出願書類等を郵送する場合は書留郵便とし、出願書類提出用宛名を印刷し、角形2号封筒に貼付の上、郵送してください。

3. 出願上の注意事項

- 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- 出願後の書類の内容変更はできません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、本学保健学研究科学務グループまで連絡してください。
- 出願に関して不明な点がある場合は、入学検定料を払い込む前に問い合わせてください。
- 受験票は、出願受理後に本人あてに送付します。
- 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

IV-6 出願書類

表6 出願書類一覧

出 願 書 類	摘 要	
①入学志願票	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、必要事項を記入してください。	◎
②受験票・写真票	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、必要事項を記入してください。所定の箇所に写真（3ヶ月以内に撮影した、縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きのもので受験時に眼鏡を着用する者は、眼鏡をかけて撮影）をそれぞれ貼付したもの	◎
③成績証明書	出身学校長等が作成し、 厳封 したもの	◎
④卒業（見込）証明書	出身学校長等が作成したもの	◎
⑤学位授与証明書	大学改革支援・学位授与機構（大学評価・学位授与機構）から学士の学位を授与された者のみ提出してください。	○
⑥志望理由書	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、必要事項を記入してください。	◎
⑦検定料	30,000円を本研究科所定の払込票（本学に請求して取り寄せること。）により最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行から払い込んでください。払込済の「振替払込受付証明書（お客様用）」を所定の貼付台紙に貼り付けて提出してください。	◎
⑧受験票送付用封筒	長形3号の封筒に、志願者の氏名、住所、郵便番号を明記し、110円分の切手を貼付してください。	◎
⑨あて名票	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、志願者の住所・氏名を記入してください。	◎

注1) ◎印は必須, ○印は該当者のみ提出する書類です。

注2) 出願資格審査において, その資格を認定された者は, 上記③及び④の出願書類を再提出する必要はありません。

注3) 外国人留学生は, 国籍及び在留資格を確認できる書類で証明した氏名を, 全ての出願書類について記入してください。

注4) 証明書の姓が旧姓となっている場合は, 現在の姓との関係を証明できる公的文書(戸籍抄本等)を添付してください。

IV-7 入学者選抜方法

1. 入学者選抜方法について

- 一般選抜は, 筆記試験, 口述試験及び提出書類により総合的に判定します。

2. 筆記試験について

- 解剖学・生理学・統計学の基礎知識, 志望領域の専門基礎知識, 保健医療全般に関わる英文情報の理解を問う問題とします。
- 英和辞書(1冊)の持ち込みを認めます。ただし, 電子辞典及び専門用語辞典等は不可とします。

3. 口述試験について

- 研究者または高度看護実践者, 診療看護師としての適性を問います。

IV-8 選抜試験の日時及び試験会場等

【第1期募集】 2026年8月28日(金)

【第2期募集】 2027年1月29日(金)

ただし, 第1期募集の選考の結果, 募集人員に達した場合は第2期募集を実施しない場合があります。

選抜区分	試験科目等	時間	試験場
一般選抜	筆記試験	10:00~11:30	弘前大学大学院 保健学研究科校舎
	口述試験	12:30~	

IV-9 合格発表

【第1期募集】 2026年9月18日(金) 午前10時(予定)

【第2期募集】 2027年2月12日(金) 午前10時(予定)

- 保健学研究科ホームページ(<https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/>)で発表するとともに, 合格者には合格通知書を郵送します。
- 電話等による可否の問い合わせには応じていません。

V 外国人留学生特別選抜

V-1 出願資格

日本国籍を有しない者で, 以下の基本要件をすべて満たし, 該当要件のいずれかの出願資格を有する者。なお, 日本語については日常会話程度の能力があることが望ましい。

【基本要件】

- A. 入学後に研究指導担当を希望する本研究科教員の推薦書により能力・学力があると保証された者
- B. 日本の入国管理及び難民認定法において大学院の入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者
- C. C E F R (Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment) 換算でB 1以上の英語能力を有する者

【該当要件】

- (1) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者
- (2) 2026年3月までに外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- (3) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2027年3月31日までに22歳に達する者

該当要件(2)、(3)により出願を希望する者は、出願に先立ち、個別の出願資格審査が必要です。9ページ「V-3 出願資格の認定審査」の項を参照してください。

V-2 事前相談

- 出願希望者は、出願前に、指導を受けようとする指導教員と電話、e-mail等で連絡を取り、入学後の履修内容や要件、研究等について必ず相談・指導を受け、受け入れの承諾と推薦の了解を得てください。
- 指導教員については、17～23ページ表10-①～④「各領域の担当教員と研究テーマ」を参照してください。
- 被ばく医療コースについては、14ページ「VI-5 被ばく医療コースについて」の項を参照してください。
- 不明な点や質問がある場合は、問い合わせてください。

V-3 出願資格の認定審査

該当要件(2)、(3)により出願を希望する者は、あらかじめ個別に出願資格の認定審査を受けてください。

1. 提出書類

該当要件(2)により出願しようとする者は、表7の書類を提出してください。

表7

①出願資格認定申請書	本研究科所定の外国人留学生一様式Aに必要事項を記入して提出してください。
②成績証明書	出身大学の長等が作成し、 厳封 したもの
③卒業証明書	出身大学の長等が作成したもの
④推薦書	出身大学の長等が作成したもの

該当要件(3)により出願しようとする者は、表8の書類を提出してください。

表8

①出願資格認定申請書	本研究科所定の外国人留学生一様式Aに必要事項を記入して提出してください。
②最終学校成績証明書	出身校の長等が作成し、 厳封 したもの

③最終学校卒業証明書	出身校の長等が作成したもの
④出身学校の規程等	卒業要件（在学期間・授業科目・単位数）の記載されたもの及び卒業に必要な授業科目のシラバス等（授業内容が記載されたもの）
⑤在職期間等証明書	在職期間及び職種について、勤務先の所属長が作成した証明書（様式任意）

2. 申請期間

【第1期募集】 2026年6月15日（月）から2026年6月19日（金）17時まで（必着）

【第2期募集】 2026年11月2日（月）から2026年11月6日（金）17時まで（必着）

3. 認定結果通知

審査の結果は、下記期日までに申請者にe-mailにより通知します。

【第1期募集】 2026年7月8日（水）

【第2期募集】 2026年11月25日（水）

V-4 出願手続等

1. 出願期間

【第1期募集】 2026年7月21日（火）から2026年7月24日（金）17時まで（必着）

【第2期募集】 2026年12月7日（月）から2026年12月11日（金）17時まで（必着）

2. 出願方法

志願者は、次の出願書類等を取りそろえ、必ず国際スピード郵便（EMS）等受付番号の控えが発行される方法で郵送し、封筒の表に「大学院保健学研究科 博士前期課程 外国人留学生特別選抜 出願書類等在中」と朱書きしてください。

3. 出願上の注意事項

- 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- 出願後の書類の内容変更はできません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、本学保健学研究科学務グループまで連絡してください。
- 出願に関して不明な点がある場合は、入学検定料を払い込む前に問い合わせてください。
- 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

4. 検定料の納入方法

次の要領に従って、検定料 30,000 円を海外の金融機関より送金してください。なお、送金には時間がかかりますので早めに手続を行ってください。送金は必ず出願期間の最終日までに指定口座に到着するように行ってください。

<送金関連事項>

【送金種類】 電信送金
【支払方法】 口座振込
【支払手数料】 依頼人負担
【送金金額】 30,000 円
【送金目的】 検定料

<送金先>

【金融機関名】 青森みちのく銀行 (Aomori Michinoku Bank Ltd)
【支店名】 親方町支店 (Oyakatamachi Branch)
【口座の種類】 普通

- 【銀行住所】 〒036-8191 青森県弘前市親方町 19
(19 Oyakatamachi, Hirosaki Aomori, 036-8191 Japan)
- 【スィフトコード】 AOMBJPJT
- 【口座番号】 201-1228599
- 【口座所有者名】 国立大学法人弘前大学 学長 福田 眞作 (Hirosaki University)
- 【口座所有者住所】 〒036-8560 青森県弘前市文京町 1 番地
(1 Bunkyo-cho, Hirosaki Aomori, 036-8560 Japan)
- 【口座所有者電話番号】 0172-36-2111

- ※ 送金依頼人は志願者の氏名としてください。
- ※ 日本国外から振り込む場合、振込には別途「送金手数料」と「日本国内取引手数料」が必要になります。この送金手数料及び日本国内取引手数料は「依頼人負担」となります。
- ※ 日本国内取引手数料については、銀行窓口で必ず「依頼人負担」と指定してください。もし指定が行われなかった場合、青森みちのく銀行で取引手数料が差し引かれるため、弘前大学への入金金が不足となります。この場合、入学検定料を支払ったとはみなされませんので注意してください。
- ※ 送金後、入学検定料送金確認票（外国人留学生一様式4）を他の出願書類とともに提出してください。

V-5 出願書類

表9 外国人留学生特別選抜 出願書類一覧

※ 保健学研究科ホームページ上から英語版の出願書類（様式1～8，A）をダウンロードできます。

URL: https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/juken/d_entrance

◎は必ず提出する書類，○は該当者のみ提出する書類

出願書類	摘 要	
①外国人留学生特別選抜入学志願票	外国人留学生一様式1に必要事項を記入して提出してください。	◎
②受験票・写真票	外国人留学生一様式2に必要事項を記入して提出してください。 なお、写真(縦4cm×横3cm)は、出願前3か月以内に撮影した正面、無帽、上半身、背景なしのものを指定欄に貼ってください。	◎
③履歴書	外国人留学生一様式3に必要事項を記入して提出してください。	◎
④成績証明書	ア 出身学校長等が作成し、 厳封 したもの イ 該当要件(2)，(3)の者は不要	○
⑤検定料及び入学検定料送金確認票	入学検定料30,000円を指定振替口座に送金してください。また、入学検定料送金確認票（外国人留学生一様式4）に必要事項を記入のうえ、提出してください。	◎
⑥卒業（見込み）証明書等	ア 出身学校長等が作成したもの イ 出願資格(2)，(3)の者は入学試験資格審査結果（写）	○
⑦研究歴又は専門研修等の実績報告書及び英語能力調査書	ア 大学在籍中または卒業後に取り組んだ研究内容または専門性に関する専門研修等の参加実績を外国人留学生一様式5に記入して提出してください。 (注1) 著書、学術論文などの別刷り又はコピーを添付してください。 イ 英語能力試験（TOEIC，TOEFL，IELTS，又はDuolingo English Test）の結果を外国人留学生一様式5に記入し、試験の公式スコア票の写しを提出してください。提出できる結果がない場合は、一般選抜で出願してください。	◎
⑧研究計画書	外国人留学生一様式6に必要事項を記入して提出してください。（日本語の場合は2,000字以内、英語の場合は500語以内とします。）	◎

⑨推薦書	卒業（見込み）大学の指導教員等又は官公庁・会社等に在職する者は所属長若しくはこれに準ずる者が作成した推薦書（様式任意）	◎
⑩研究指導担当希望教員の受入承諾・推薦書	志願者は、保健学研究科の指導教員と連絡を取り、研究計画などの指導を受け、希望指導教員（受入教員）から受入の承諾と推薦を受けてください。 ※希望指導教員（受入教員）は、外国人留学生様式7に必要事項を記入、サインをしたうえで、希望指導教員（受入教員）と志願者との連絡経緯が分かる書類（手紙、メールなどのやり取りのコピー）とともに提出してください。	◎
⑪住民票等	市区町村発行の住民票 （受験のために来日する場合は旅券の写し） ※国費外国人留学生は、在学する大学発行の「国費外国人留学生証明書」も添付すること。	◎
⑫あて名票	合格通知書、入学手続書類などを送付する際に使用しますので、志願者はあて名票（外国人留学生様式8）すべてに、郵便番号、住所及び氏名を正確に記入し、他の出願書類とともに提出してください。 なお、出願後に住所などが変更になった場合は、速やかに学務グループまで連絡してください。	◎

※ 出願書類の⑩様式7については、以下のような手順を踏んでください。

- 保健学研究科の指導教員の中から、希望指導教員を選定してください。志願者は、e-mailで保健学研究科学務グループに連絡するとともに、希望指導教員に直接コンタクトを取ってください。
- 希望指導教員と密接な連絡を取り、研究計画の指導などを受け、必ず出願の前に受入の承諾を得てください。
- 様式7は希望指導教員が提出しますので、志願者は希望指導教員に提出の確認を行ってください。
- 提出する書類が英語以外の外国語の場合は、日本語または英語に訳したものを添付してください。

V-6 入学者選抜方法

入学者の選抜は、出願書類及び口述試験により判定します。口述試験は英語で行います。

入学試験を受験するために来日することが困難な外国人は、本学保健学研究科学務グループまで問い合わせてください。

V-7 選抜試験の日時及び試験会場等

【第1期募集】 2026年8月28日（金）

【第2期募集】 2027年1月29日（金）

ただし、第1期募集の選考の結果、募集人員に達した場合は第2期募集を実施しない場合があります。

選抜区分	試験科目等	時 間	試 験 場
外国人留学生 特別選抜	口述試験	12:30～	弘前大学大学院 保健学研究科校舎

V-8 合格発表

【第1期募集】 2026年9月18日（金）午前10時（予定）

【第2期募集】 2027年2月12日（金）午前10時（予定）

- 保健学研究科ホームページ（<https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/>）で発表するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。

- 電話等による可否の問い合わせには応じていません。

VI 諸手続き・制度

VI-1 入学手続等

入学手続の詳細（手続期間、提出書類など）については、合格者に別途通知します。

1. 入学に要する経費

- 入学料 282,000 円（予定）
 - 注1) 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
 - 注2) 授業料は、年額 535,800 円（前期分 267,900 円 後期分 267,900 円）（予定）です。
授業料前期分は 5 月 31 日、後期分は 10 月 31 日までに納付してください。
 - 注3) 入学時までに入学金及び授業料の改定が行われた場合は、それぞれ改定後の額となります。

2. 入学料・授業料免除等について

入学料・授業料免除等に関する情報については、本学 HP を確認してください。
(https://www.hirosaki-u.ac.jp/campuslife/menjo/admission_gs/)

3. 奨学金について

学業・人物ともに優れた学生で経済的理由のため修学困難であると認められる者に対し、奨学金を貸与する日本学生支援機構の奨学金制度があります。

この奨学金は、本人の申請に基づき、学業成績・研究能力及び家庭の経済的事情等を審査し、選考のうえ、日本学生支援機構に推薦し、決定されるものです。

上記のほか、自治体や民間の奨学金、本学独自の奨学金も利用できます。

4. TA 制度について

弘前大学大学院保健学研究科に在学する学生に対し、教育的配慮の下に教育補助業務を行わせ、学生が将来教員・研究者になるためのトレーニングの機会とするティーチング・アシスタント（TA）制度があります。この制度では学生の経済的な支援も目的の一つとなっており、TA に採用されると手当が支給されます。

VI-2 教員免許状授与の所要資格の取得

高等学校教諭（看護）の一種免許状を取得している者は、保健学研究科保健学専攻を修了し所定の単位を修得すれば、高等学校専修免許（看護）を取得できます。

VI-3 長期履修学生制度について

- この制度は、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（2 年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することができる制度です。指導教員に相談のうえ、所定の期日（合格者に別途通知）までに手続きをしてください。
なお、在学途中における長期履修学生への変更は、規程により認められない場合があります。

1. 対象者

職業を有している者（自営業、臨時雇用、非常勤等を含む。）とします。

2. 長期履修期間

2 年を限度とします。

したがって、教育課程を履修する期間（修業年限）は、3年又は4年となります。

3. 申請方法

「入学志願票」の該当欄に必要事項を記入してください。申請書は入学手続き書類と合わせてお渡しします。

4. 結果通知

申請者に対し、入学後に長期履修についての結果を通知します。

5. 授業料

1) 年額の授業料は、次のとおりです。

(学則に定められた授業料年額) × 標準修業年限 (2年)

÷ 許可された修業年限 (3年又は4年) = 長期履修者の場合の年間授業料

2) 授業料の決定は、長期履修結果通知時 (入学後) に行いますので、長期履修を希望する場合は、入学手続き時に授業料を納入しないでください。

3) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。その際は、改めて通知します。

VI-4 個人情報保護について

住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続き及びこれらに付随する事項ならびに入学後の学務業務における学籍・成績管理、入学者選抜や教育課程改善のための調査・研究を行うためにのみ利用します。また、取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に利用しません。

VI-5 被ばく医療コースについて

被ばく医療コースの人材育成の目的、到達目標は以下のとおりです。

なお、所定の単位を修得するとともに、放射線に関する修士論文審査及び最終試験に合格することにより「被ばく医療認定士」の称号が付与されます。

<目的>

放射線にかかわる緊急被ばく事故に備えることができる人材として、緊急被ばく医療に関する高度専門職やリーダーを養成するとともに本分野の学問の発展に貢献できる教育者・研究者を育成する。

<到達目標>

- ① 緊急被ばく医療に関する専門的知識・技術を習得する。
- ② 緊急被ばく医療分野において求められるリーダーシップ能力を習得する。
- ③ 緊急被ばく医療に関する教育・研究的能力を習得する。

VI-6 放射線看護高度看護実践コースについて

放射線看護高度看護実践コースの教育理念・教育目的・教育目標は以下のとおりです。

なお、所定の単位を修得するとともに、課題研究論文審査及び最終試験に合格することにより「放射線看護高度実践看護師」の称号が付与されます。

<教育理念>

本コースは、豊かな知識と熟練した技術を駆使して、対象者の健康問題を診断し、高度な看護実践を行うことができる人材を育成する。さらに、健康問題の解決に向けた、個人や家族、地域社会ならびに医療職者に対する教育・相談活動の実施、他の医療従事者や地域社会の人々、公的機関等と連携・協働することができる能力を培う。また、学際的・国際的な広い視野と専門家としての倫理的配慮の下で看護実践、教育・研究に指導的な役割を果たすことができる人材を育成する。

<教育目的>

放射線被ばくや放射線防護に関する高度な専門知識・技術を基盤とし、施設や地域における個人や集団の放射線被ばく防護対策に従事すると共に、放射線被ばくに関連した複雑な健康問題を持つ個人、家族および集団に対して高度看護実践を行うことのできる人材の育成を目指す。

<教育目標>

- ① 放射線被ばくや放射線防護に関する高度な専門知識・技術を活用し、顕在あるいは潜在した放射線の人体影響を有する対象への高度看護実践を行うことができる。
- ② 放射線被ばくを最小限にするための的確な臨床判断と管理を行うことができる。
- ③ 個人や集団が放射線に関する正しい知識を有し、自らの健康を守るための判断と行動ができるように教育・啓発活動及び相談活動ができる。
- ④ 看護職者に対して、放射線看護に必要な知識及び技術に関する教育・相談活動ができる。
- ⑤ 放射線看護に必要な教育・医療システムの調整を行うことができる。
- ⑥ 放射線看護に関する倫理的課題に対しの確な判断を行い、解決に向けて支援を行うことができる。
- ⑦ 放射線看護に関する専門的知識や技術の向上に資する看護研究を行うことができる。

VI-7 診療看護師（NP）コースについて

（2026年4月現在、設置認可事前相談中であり、今後、審査を経て変更が生じる可能性があります。）
診療看護師（NP）コースの教育目的・教育目標は以下のとおりです。

<教育目的>

安心と挑戦をモットーに社会インフラとしての医療を支え、課題解決と創造性をもって挑戦し続ける診療看護師（NP）を育成する。現代社会の多様なニーズに応え、将来にわたり持続可能な医療を提供できるよう、高度な臨床実践能力、研究能力、教育能力を備え、地域医療の発展に貢献できる人材の育成を目指す。

<教育目標>

- ① 高度な臨床実践能力の修得
科学的根拠に基づいた最新の医療知識と特定行為を含む高度な技術を習得し、包括的健康アセスメント能力および医療的処置マネジメント能力を備え、卓越した看護実践を展開する能力を養う。
- ② 多職種連携・協働能力の強化
医療チームの一員として、医師、薬剤師を含む多職種と円滑に連携・協働し、患者中心の包括的ケアを提供できる能力を育成する。
- ③ 地域医療への貢献とリーダーシップ能力の修得
地域包括ケアシステムのもとで、その機能の充実に参画し、地域住民の健康増進、疾病予防、在宅医療、災害医療など、地域特性に応じた医療ニーズに対応できるリーダーシップを発揮する能力を養う。
- ④ 研究能力と課題解決能力の向上
臨床現場の課題を抽出し、科学的根拠に基づいた研究を推進することで、新たな医療モデルやケア方法を開発・実践できる能力を育成する。
- ⑤ 倫理的判断とプロフェッショナリズムの確立
患者の尊厳と権利を尊重し、複雑な倫理的課題に対して最適解を導き出す倫理的実践能力を備え、生涯にわたり自己研鑽を続けるプロフェッショナルとしての姿勢を確立する。
- ⑥ 国際的視点と情報発信能力の育成
世界の医療動向に関心を持ち、国際的な視野で医療課題を捉え、自らの研究成果や実践知を国内外に発信できる能力を育成する。

VI-8 その他

1) 身体に障害を有する志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合には、出願に先立ち、あらかじめ申し出てください。

その他、出願に際して疑問又は不明の点があれば、問い合わせてください。

2) 弘前大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて、「弘前大学安全保障輸出管理規程」を定め、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し、厳格な審査を行っています。

規制されている事項に該当する場合は、希望する教育・指導が受けられない場合や、希望する研究活動に制限がかかる場合があるため、出願希望者は、出願前に希望指導教員と連絡を取り、入学後の履修内容や要件、研究等について必ず相談・指導を受けること。

3) 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水痘、新型コロナウイルス感染症等）に罹患し入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の場合は、受験できません。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。

上記の理由により受験できなかった場合、追・再試験や別室受験等の特別措置および入学検定料の返還は行いません。

VI-9 書類提出先・問い合わせ先

〒036-8564 青森県弘前市本町 66 番地 1 弘前大学保健学研究科学務グループ TEL : 0172-39-5911 FAX : 0172-39-5912
--

2027年度 各領域の担当教員と研究テーマ

表10-① 看護学領域

主指導教員・副指導教員	主 研 究 テ ー マ
教授 藤田 あけみ (診療看護師 (NP) コース教育 担当教員) TEL 0172-39-5948 a_fujita@hirosaki-u.ac.jp	○がん患者と家族のQOLに関する研究 ○患者教育に関する研究 ○健康障害のある人の日常生活の向上に関する研究
教授 井瀧 千恵子 TEL 0172-39-5974 itakichi@hirosaki-u.ac.jp	○原子力災害医療に関する研究 ○放射線リスクコミュニケーションに関する研究 ○看護管理に関する研究 ○医療安全に関する研究
教授 小倉 能理子 TEL 0172-39-5907 ogu1224@hirosaki-u.ac.jp	○看護師のキャリア形成, 継続教育に関する研究 ○看護師の職務満足, 職場環境に関する研究 ○患者教育に関する研究
教授 北宮 千秋 TEL 0172-39-5945 chiaki@hirosaki-u.ac.jp	○健康の保持, 増進へ向けた保健活動に関する研究 ○原子力災害における住民支援に関する研究
教授 遠野 千佳子 (診療看護師 (NP) コース教育 担当教員) TEL 0172-39-5947 tonochikako2978@hirosaki-u.ac.jp	○小児慢性骨髄性白血病の至適治療・管理に関する研究
教授 大津 美香 TEL 0172-39-5996 h_otsu@hirosaki-u.ac.jp	○認知症看護に関する研究 ○QOL向上を目指した療養生活管理に関する研究 ○孤独・孤立対策に関する研究
教授 富澤 登志子 TEL 0172-39-5933 tmtott@hirosaki-u.ac.jp	○シミュレーション教育 ○クリティカルシンキングと看護診断 ○糖尿病および生活習慣病の療養支援 ○ICT, VRを用いた教育および教材開発 ○災害看護
准教授 佐藤 真由美 TEL 0172-39-5953 sato-ma@hirosaki-u.ac.jp	○新卒看護師の社会化に関する研究 ○看護師の継続教育に関する研究 ○訪問看護における看護技術に関する研究
准教授 漆坂 真弓 (放射線看護高度看護実践 コース教育担当教員) TEL 0172-39-5944 urushima@hirosaki-u.ac.jp	○慢性疾患患者の看護に関する研究 ○被ばく医療, 放射線看護に関する研究
准教授 扇野 綾子 TEL 0172-39-5903 ohgino@hirosaki-u.ac.jp	○小児期発症慢性疾患患者の日常生活に関する研究 ○ストレス・コーピングに関する研究 ○検査や治療を受ける子どもと家族への看護に関する研究
准教授 高間木 静香 TEL 0172-39-5957 takamagi@hirosaki-u.ac.jp	○妊娠中の食生活や運動に関する研究 ○看護技術の可視化および教育への活用に関する研究 ○災害時の母子への支援に関する研究

<p>准教授 北島 麻衣子 (放射線看護高度看護実践 コース教育担当教員) TEL 0172-39-5984 kitajima@hirosaki-u.ac.jp</p>	<p>○放射線診療を受ける患者の看護に関する研究 ○症状緩和効果に関する研究</p>
<p>講師 山本 美由紀 TEL 0172-39-5943 miyukiya@hirosaki-u.ac.jp</p>	<p>○健康な地域づくりのための包括的支援体制構築に関する研究 ○持続可能な保健行動に向けた啓発教育に関する研究</p>

表 10-② 放射線技術科学領域

主指導教員・副指導教員	主 研 究 テ ー マ
教授 床次 眞司 TEL 0172-39-5404 tokonami@hirosaki-u.ac.jp	○放射線計測技術・線量評価手法の高度化・標準化に関する研究 ○環境中の放射性物質・放射線の測定に係る評価並びに動態に関する研究 ○放射線防護体系構築のためのリスク解析研究（リスクコミュニケーション、疫学調査など）
教授 敦賀 英知 TEL 0172-39-5954 tsuru@hirosaki-u.ac.jp	○肺胞弾性線維の放射線照射による影響評価に関する研究 ○皮膚真皮の弾性系線維の形成機構に関する研究 ○眼球毛様体小帯の改造機構に関する研究 ○放射線治療の有効性向上に関する生物学的基礎研究 ○放射線細胞応答における細胞小器官の役割に関する研究 ○Monte Carlo法を用いた医療被ばくの線量評価 ○Monte Carlo法による放射線治療における線量分布評価 ○細胞の放射線応答を予測する物理生物モデルの開発 ○放射線治療と化学療法併用に関する基礎的研究
教授 高橋 康幸 TEL 0172-39-5917 ytaka3@hirosaki-u.ac.jp	○トレーサ情報解析に関する研究 ○SPECTおよびPET画像の画質改善に関する研究 ○診療放射線技師に係る法規に関する研究 ○医療被ばく線量の低減に関する研究 ○放射線緊急事態時の規制、安全管理等被ばく医療に関する研究
教授 工藤 幸清 TEL 0172-39-5958 kohsei@hirosaki-u.ac.jp	○X線診断機器の画質・性能評価および撮影線量の最適化に関する研究 ○医療従事者の水晶体被ばく線量推定に関する研究 ○地域保健医療に寄与するX線画像転送に関する研究 ○医療放射線の安全利用に関する研究
教授 赤田 尚史 TEL 0172-39-5405 akata@hirosaki-u.ac.jp	○バイオアッセイと内部被ばく線量評価に関する研究 ○環境・生体試料中トリチウム計測に関する研究 ○宇宙線生成核種を用いた地球表層における物質循環研究
教授 細田 正洋 TEL 0172-39-5956 m_hosoda@hirosaki-u.ac.jp	○環境中の放射線および放射性核種の計測・動態評価・線量評価に関する研究 ○原子力災害時における放射線計測手法の高度化および線量評価に関する研究
准教授 奥田 光一 TEL 0172-39-5921 okuda1@hirosaki-u.ac.jp	○臨床 SPECT, PET 画像の定量解析 ○機械学習・深層学習を用いた医用画像解析 ○モンテカルロシミュレーションによる放射線のイメージングおよび線量測定
准教授 門前 暁 TEL 0172-39-5959 monzens@hirosaki-u.ac.jp	○がん核医学療法における重要臓器を防護するための治療技術最適化に関する研究 ○がん放射線療法における骨髄抑制の発症抑制に関する臨床研究 ○新たな生物学的放射線被ばく線量定量法（バイオドシメトリ）の技術開発 ○非密封放射性同位元素を利用する汚染管理区域の管理業務最適化に関する研究
准教授 大森 康孝 TEL 0172-39-5244 ys-omori@hirosaki-u.ac.jp	○自然放射線による内部および外部被ばくに関する研究 ○原子力災害に起因する放射性物質の環境動態及び被ばく線量評価に関する研究 ○ラドンおよびトロン中の動態に関する研究
准教授 Kranrod Chutima TEL 0172-39-5434 kranrodc@hirosaki-u.ac.jp	○屋内外環境のラドン、トロン及びそれらの子孫核種からの吸入被ばく線量評価に関する研究
講師 對馬 恵 TEL 0172-39-5920 tmegumi@hirosaki-u.ac.jp	○超音波検査による動脈硬化診断の臨床的研究 ○放射線教育の実践
講師 小山内 暢 TEL 0172-39-5524 ominoru@hirosaki-u.ac.jp	○医療放射線の安全利用に関する研究 ○原子力災害時の規制やリスクコミュニケーションに関する研究 ○放射線教育に関する研究

講師 吉野 浩教 TEL 0172-39-5528 hyoshino@hirosaki-u.ac.jp	○放射線治療の有効性向上に関する生物学的基礎研究 ○放射線細胞応答における細胞小器官の役割に関する研究
副指導教員	主 研 究 テ ー マ
助教 寺島 真悟 TEL 0172-39-5525 s-tera@hirosaki-u.ac.jp	○Monte Carlo法を用いた医療被ばくの線量評価 ○Monte Carlo法による放射線治療における線量分布評価
助教 細川 翔太 TEL 0172-39-5526 shosokawa@hirosaki-u.ac.jp	○核医学分野の精度向上に関する研究
助教 山口 平 TEL 0172-39-5961 masarun@hirosaki-u.ac.jp	○放射線被ばく個体の障害軽減に関する研究
助教 辻口 貴清 TEL 0172-39-5964 r.tsuji@hirosaki-u.ac.jp	○放射線緊急事態時の規制, 安全管理等被ばく医療に関する研究
助教 嵯峨 涼 TEL 0172-39-5962 sagar@hirosaki-u.ac.jp	○細胞の放射線応答を予測する物理生物モデルの開発 ○放射線治療と化学療法併用に関する基礎的研究

表10-③ 生体検査科学領域

主指導教員・副指導教員	主 研 究 テ ー マ
教授 丹藤 雄介 TEL 0172-39-5992 ytando@hirosaki-u.ac.jp	○栄養関連バイオマーカー, 栄養アセスメントに関する研究 ○糖尿病療養デバイスの開発と病態解析
教授 山形 和史 TEL 0172-39-5932 kymgt@hirosaki-u.ac.jp	○造血器腫瘍における形態的特徴と予後の検討 ○血液疾患診断のためのAI解析技術の検討 ○造血器腫瘍と二次発がん発症における疫学的研究
教授 松宮 朋穂 TEL 0172-39-5916 tomo1027@hirosaki-u.ac.jp	○大規模健診データに基づく疾患発症予兆因子の解明 ○口腔内細菌叢解析に基づく健康増進法の開発 ○サイトカインストーム発症メカニズムの解明
教授 加藤 哲子 TEL 0172-39-5967 nor-kato@hirosaki-u.ac.jp	○婦人科系腫瘍の臨床病理学および分子病理学的研究 ○胚細胞腫瘍の組織発生に関する研究
教授 平賀 寛人 TEL 0172-39-5925 hhiraga@hirosaki-u.ac.jp	○ビタミンAによる腸管上皮オートファジーとムチン分泌制御機構: leaky gutへの応用 ○ビタミンA欠乏マウスにおける腸炎増悪の機序におけるdysbiosisの関与 ○ビタミンAによる細胞老化の予防効果 ~不老長寿への挑戦~ ○血清マルチサイトカインAI解析を用いた治療効果予測モデルの構築: 関節リウマチ等 ○Deep Learningによるクローン病炎症性/線維性狭窄バランスの自動評価 (MRI ADC) ○ResNet50を用いた早期クローン病の小腸カプセル内視鏡的重症度の自動評価 ○大腸カプセル内視鏡を用いた全消化管観察と異常所見自動検知システムの構築
教授 宮崎 航 TEL 0172-39-5955 miya@hirosaki-u.ac.jp	○発達・発育における環境因子(環境化学物質)の影響に関する研究 ○環境因子によるエピゲノム変化とその発現メカニズムの解明 ○リキッドバイオプシーによる臓器障害予測システムの開発
教授 三浦 富智 TEL 0172-39-5966 tomisato@hirosaki-u.ac.jp	○新規細胞遺伝学的被ばく線量評価法の開発 ○染色体異常に及ぼす背景因子の解析 ○医療被ばくおよび職業被ばくにおける染色体異常の解析 ○放射線被ばくの生物影響研究 ○プロシアニジン類の腸管ホメオダイナミクスによる生活習慣病予防作用の解明
教授 田副 博文 TEL 0172-39-5503 tazoe@hirosaki-u.ac.jp	○重金属元素および放射性核種の生体内挙動および生物影響評価に関する研究 ○固相抽出法および自動化技術による放射性核種分析技術の高度化に関する研究 ○微量化学物質および同位体をトレーサーとする物質循環研究
准教授 堀江 香代 TEL 0172-39-5969 k-horie@hirosaki-u.ac.jp	○卵巣癌における細胞外小胞内在因子に関する研究 ○植物由来生理活性物質(フィトケミカル)による生活習慣病の予防
准教授 葛西 宏介 TEL 0172-39-5453 kokasai@hirosaki-u.ac.jp	○L-アミノ酸オキシダーゼの抗菌活性調節に関する研究 ○ヒアルロン酸合成に関わる酵素活性調節に関する研究 ○放射線生物影響評価(復興支援)
准教授 千葉 満 TEL 0172-39-5965 mchiba32@hirosaki-u.ac.jp	○細胞外小胞エクソソームの機能に関する研究 ○癌と機能性RNAに関する研究 ○癌浸潤・転移に関する研究 ○疾患の早期発見バイオマーカーに関する研究
副指導教員	主 研 究 テ ー マ
助教 山内 可南子 TEL 0172-39-5360 kanako.8@hirosaki-u.ac.jp	○自由生活性アメーバの生態及び病態解析 ○腸内フローラを用いた放射性腸管障害軽減に関する研究

表10-④ 総合リハビリテーション科学領域

主指導教員・副指導教員	主 研 究 テ ー マ
教授 高見 彰淑 TEL 0172-39-5976 a-takami@hirosaki-u.ac.jp	○脳卒中患者の歩行機能評価、治療に関する研究 ○脳卒中患者の評価指標に関連する研究 ○認知機能に関する研究 ○がん、循環器疾患、小児疾患、呼吸器疾患など臨床上的の評価指標全般に関する研究
教授 對馬 栄輝 TEL 0172-39-5980 pteiki@hirosaki-u.ac.jp	○筋骨格系障害に対する運動学的な姿勢・動作の分析 ○筋電計を用いた筋機能評価と姿勢・運動分析への応用 ○健康・疾病・障害に対する疫学研究と統計的解析の活用 ○理学療法評価と治療に関する研究
准教授 田中 真 TEL 0172-39-5937 tanakam@hirosaki-u.ac.jp	○精神障害者のQOL向上のための研究 ○精神障害者の社会参加促進のための研究 ○統合失調症患者の認知機能に関する研究
准教授 吉田 英樹 TEL 0172-39-5975 ptyoshi@hirosaki-u.ac.jp	○物理療法の効果検証・新たな介入法の開発に関する研究 ○運動療法と物理療法の協働（併用・同時施行）の有効性に関する研究 ○物理療法を用いたヘルスプロモーション（精神・身体リラクセーション、ストレスマネジメント、障害予防など）に関する研究 ○理学療法を基盤としたペインリハビリテーションに関する研究 ○理学療法の評価・治療全般に関する研究
准教授 古川 智範 TEL 0172-39-5985 gdb-e@hirosaki-u.ac.jp	○脳組織におけるリハビリテーション効果とその発現機序 ○各種モデル動物を用いた回復促進型リハビリテーションに関する研究 ○認知症に関連する脳内神経機能低下の改善要因とその機序に関する研究 ○精神疾患に関連する脳領域に対する運動療法の効果に関する研究
准教授 高橋 純平 TEL 0172-39-5977 junpei@hirosaki-u.ac.jp	○ストレッチングを中心とした運動療法に関する研究 ○臨床推論過程など理学療法教育に関する研究 ○歩行の自立や上肢を用いた立ち上がり動作を中心とした基本動作に関する研究 ○理学療法評価・治療に関する研究
講師 平川 裕一 TEL 0172-39-5988 yhira@hirosaki-u.ac.jp	○生活行為における身体運動・動作の解析とその治療への応用に関する研究 ○福祉用具の開発に関する研究 ○地域住民の健康増進・介護予防に関する研究
講師 上谷 英史 TEL 0172-39-5987 kamihide@hirosaki-u.ac.jp	○身体障害者に対する日常生活活動の評価および治療に関する研究 ○福祉用具の開発に関する研究 ○地域住民の介護予防に関する研究
講師 藤田 俊文 TEL 0172-39-5544 pttoshi@hirosaki-u.ac.jp	○脳血管疾患や高齢者の介護予防、認知症予防に関する研究 ○全身振動刺激の有効性に関する研究 ○機能的食品素材と運動に関する研究 ○動作解析に関する研究 ○血流制限トレーニングとマイオカインに関する研究
講師 小枝 周平 TEL 0172-39-5990 ot_koeda@hirosaki-u.ac.jp	○発達障害を有する子どもの運動に関する研究 ○発達障害を有する子どもの栄養に関する疫学的研究 ○高齢者の精神医学的側面に関する研究 ○整形外科疾患の作業療法治療に関する研究
副指導教員	主 研 究 テ ー マ
助教 牧野 美里 TEL 0172-39-5543 ptmakino@hirosaki-u.ac.jp	○脳卒中患者の動作解析に関する研究 ○脳卒中患者の歩行機能評価、治療に関する研究 ○脳卒中患者の評価指標に関連する研究 ○理学療法評価・治療に関する研究

<p>助教 横田 純一 TEL 0172-39-5982 jun04770@hirosaki-u.ac.jp</p>	<p>○内部障害領域のリハビリテーション（循環器、呼吸器、腎臓、がん）に関する研究 ○サルコペニア、嚥下障害、身体活動量、リハビリテーション栄養に関する臨床研究 ○呼吸筋トレーニングに関する研究</p>
<p>助教 石川 大瑛 TEL 0172-39-5519 takaaki@hirosaki-u.ac.jp</p>	<p>○スポーツ障害にかかわるスポーツ動作の三次元的解析 ○スポーツ障害の予防・治療に関する研究 ○足部の動作解析に関する研究 ○理学療法評価・治療に関する研究</p>

お知らせ

募集要項の請求等について

1. 募集要項及び入学志願票等の所定用紙は、**検定料を払い込むために必要な書類（払込取扱票）を除き**、保健学研究科ウェブサイト（https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/juken/d_entrance）からダウンロードできます。

払込取扱票は（所定用紙を印刷できない場合は所定用紙も）、本学に請求して取り寄せる必要があります。

請求は、保健学研究科学務グループ窓口にて直接請求するか、郵送にて請求してください。郵送の場合の請求方法は、下記のとおりです。

	払込取扱票のみ請求する場合	募集要項全体（払込取扱票・各種所定用紙を含む）を請求する場合
送付する封筒に記載すること	「大学院保健学研究科（博士前期課程）払込取扱票請求」と朱書き	「大学院保健学研究科（博士前期課程）学生募集要項請求」と朱書き
同封するもの	返信用封筒：角形2号（A4サイズが入る大きさ） 返信先の郵便番号，住所，氏名を記載	
	140円分の切手を貼付（速達を希望する場合は440円分の切手）	320円分の切手を貼付（速達を希望する場合は620円分の切手）
請求先	弘前大学保健学研究科学務グループ 〒036-8564 青森県弘前市本町66番地1	

2. 過去に出題された試験問題は、保健学研究科ウェブサイト（https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/juken/d_entrance）にて公表しています。ただし、著作権の関係上、引用文については公表しておりません。

保健学研究科ホームページ

保健学研究科に関する詳しい情報が掲載されています。

URL：https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/juken/d_entrance

問合せ先一覧

事項	担当名	電話
○ 入学試験・教務に関すること	保健学研究科学務グループ	0172-39-5911
○ 入学料・授業料免除申請に関すること	学生課・経済支援担当	0172-39-3117, 3135
○ 学生寮に関すること	学生課・課外教育担当	0172-39-3107